

10/30 組合66周年 鉄板焼きで誕生会

1949年10月29日に創設された東北大学職員組合が満66周年を迎えました。このことを祝って、恒例の「鉄板焼きde誕生会！」が10月30日（金）18:30より本部書記局にて開催されました。

会場に入りきれないほど大勢に集ってもらうことは残念ながらできませんでしたが、パースデーケーキ、ちらし寿司、お好み焼き&たこ焼き風アメリカンドッグ？などの料理や差入れのお酒を含む飲み物が所狭しと並び、参加者7名が笑いの絶えない雰囲気の中で和気あいあいと会話を弾ませる楽しい誕生会でした。また同時に、これまでの活動の長い歴史に思いを馳せ、今後に対する気持ちを新たにすよい機会となりました。（執）酒井義文さん



66歳おめでとう！

「ガイドラインは現場にどう受け止められよう生かされているか現状と課題」について記念講演があった。16時間夜勤から12時間や13時間夜勤へ移行する場合、慎重に周到に実施する必要がある、働く看護師との合意形成が大切であるとの話があった。試行を行い期限を

岡山大学に集まった全国の仲間達



岡山大学にて17大学37名の参加で行われた。「安全安心の医療をめざして教職員の労働条件改善」看護師を中心とした。日本看護協会の看護労働・確保対策担当の奥村元子氏から「ガイドラインは現場にどう受け止められよう生かされているか現状と課題」について記念講演があった。16時間夜勤から12時間や13時間夜勤へ移行する場合、慎重に周到に実施する必要がある、働く看護師との合意形成が大切であるとの話があった。試行を行い期限を

10/24~25
大学の民営的運営を守るのは職員組合しかない！
（病院支部） 北村裕子さん

北海道、東北から12大学20人が集まり北大で開催されました。執行部より、①大学・高等教育を取り巻く情勢、課題 ②平和、民主主義、人権の擁護 ③大学、高専、大学共同利用機関の教職員の賃金、労働条件の改善 ④全大教と単組の組織強化。それぞれについて取り組みの経過と今後の取

り組みと課題と行動が提起され、活発な討論、各大学での実情などを出し合い経験、交流を深めました。私は参考資料として、コアを持参しました。金研の本郷さんは最近の組合の動向をまとめてくださいました。各大学とも組合拡大には苦労しているようでしたが、いろいろな工夫や努力もみられました。期限付き採用で困っているある教員が解決策をたどっていくと組合にたどりつき、「組合はみんなと一緒に考えてくれるところ」ということがわかり組合加入をして解決に至ったとのこと。参加者に共通しているところは「大学の民営的運営を誰が守るのか？それは職員組合しかない」ということでした。資料の中から産前、産後休暇が全大教加盟組合の国公立大学で産前休暇が8週間（労基法による最低基準は産前6週間）になっ

11/21-22 全国医科系大学懇談会

**労働条件を改善し、
離職者を減らすことが重要！**

（病）中川佳子さん

決めて評価してからどう実施していくかが大切で、なし崩し的にはするべきでないとの話であった。今後医療勤務環境の改善の取り組みが努力義務となるとの情報もいただいた。人材の確保に関して、今の労働環境で働けずやめてしまった人が戻ってくる可能性は低く、より多くの人ができる夜勤体制、続けられる夜勤体制に変えていき、離職者を減らすことが重要であると話された。看護協会、労働組合、各病院組織それぞれが頑張って労働条件を改善していくチャンスと受け止めた。